

# 新年



新年のごあいさつ

## 市民と歩む新しい鴻巣に向けて

鴻巣市長 並木 正年

明けましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年8月に、多くの皆様のご信任をいただき、市政をお預かりしてから5か月が経過いたしました。平素より、市民の皆様をはじめ、議員各位、市内活動団体、関係機関等の方々には、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市では、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策として、オミクロン株対応ワクチンのほか、5歳から11歳のお子さんや乳幼児への接種拡大など、医師会のご協力のもと、円滑なワクチン接種に取り組むとともに、市民の皆様への暮らしや地域経済の回復に向け、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を最大限に活用した様々な支援策を展開しております。新型コロナウイルスに関する国の方針が見直される一方で、現在も感染者数が増加傾向となっていることから、引き続き、感染防止対策にご協力をお願い申し上げます。

昨年に予定しておりました事業

等につきましては、物価高に伴う資材やエネルギー価格の高騰等の影響も見られますが、おおむね順調に進捗しております。

特に昨年は、県内初となる帯状疱疹ワクチン任意接種への助成や、9月から75歳以上の一人暮らしの高齢者を対象とした「高齢者あんしんみまもりサービス」をスタートするとともに、11月から最先端のICTを活用した「のすっ子未来教室」等を開始したほか、10月には本市のまちづくりを市民の皆様と考える「シティプロモーション推進フォーラム」を開催しました。また、生活道路の交通安全対策等も積極的に推進しております。このほか、関係各位のご尽力により「こうのす花火大会」や「おとり祭り」が数年ぶりに開催されるなど、少しずつ賑わいが戻ってきています。

そして本年も、引き続き物価高騰等により影響を受けている市民生活や事業者への支援策に迅速に取り組みます。まず、市民及び事業者の経済的支援として水道基本料金の2か月分の免除、子育てや教育の支援として市内小・中学校給食費の1月から3月分の免除等

を実施するほか、福祉施設等に対し、エネルギー価格等高騰対策支援金を給付いたします。

また、6月には、市民の健康を育み、運動を通じた憩いや交流の場をコンセプトとした「大間近隣公園」がオープンする予定であるほか、市民生活に欠かすことのできない新ごみ処理施設整備推進事業、県との連携による産業団地の推進、国との一体型による道の駅整備など重点事業についても着実に推進してまいります。そして、コウノトリの飼育を始めて1年が経過し、雛の誕生が期待されると共に、コウノトリをシンボルとした「一人にも生き物にもやさしいまちづくり」を推進し、本市の豊かな自然環境の整備、保全に取り組んでまいります。

本年におきましても、市民の皆様と共に歩みながら、誰もが活躍でき、主役になれるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

### 令和4年の主な出来事



新たな鴻巣市政スタート  
並木正年市長就任（8月～）



今年も「こうのすフラワーロード」を季節の花で  
装飾（4月～）



コウノトリ野生復帰センター「天空の里」  
一般公開を開始（1月）





# 謹

# 賀



新年のごあいさつ

## 鴻巣市の新しい景色に

### ご期待ください

#### 鴻巣市議会議長 野本 恵司

明けましておめでとうございませす。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は市議会の活動に対して、温かいご理解とご支援を賜り、市議会を代表して、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に収束の気配はなく、感染拡大防止とその対策に追われる1年となりました。市内においても、特に小中学校では毎日のようにどこかの学校で学級閉鎖が発生していましたので、大変憂慮しているところでした。

さて、世界的に話題となったのが「FIFAワールドカップカタール2022」です。7回目の出場となった日本代表は、これまででたどり着いたことのないベスト8を目標に掲げ今大会に臨みましたが、残念ながら決勝トーナメント1回戦で敗退しました。待ち望んだ「新しい景色」を見ることは叶いませんでしたが、強豪国に逆

転勝ちするなど、日本代表は多くの収穫を得た大会となりました。

そして、昨年本市にとって最大の出来事は、並木正年市長の誕生ではないでしょうか。原口前市長の勇退に伴う20年ぶりの新しい市長であり、多くの市民の皆様が期待しています。より良いまちづくりへの思いは、議会も同じであります。並木市長の政策をしっかりと審議し、議会本来の役割を果たしていきたいと思えます。

また、市議会では活発な議論が展開されています。6月定例会では、議員定数を26人から24人へ削減いたしました。議員としては、大変厳しく重い課題ではありましたが、定数削減に正面から向き合い、議論を重ね、答えを導き出すことができました。

さらに、オンラインによる委員会の開催が可能となるよう条例等の改正も行いました。これは、万が一に備えての議会の危機管理であり、議会改革の一端でもあります。

今年に目を向けますと、任期最後となる3月定例会が開かれ、新年度予算を審議する大切な議会となります。閉会しますと、いよいよ統一地方選挙の幕開けとなり、4月9日に県議会議員、23日に市議会議員の選挙が行われ、5月からは24人による新しい任期4年間の市議会が始まります。市長と議会は、車の両輪に例えられますが、この両輪が軌みなくスムーズに動くことで、本市がより良い方向へ向かうとともに、新しい市長と新しい議会による「鴻巣市の新しい景色」を市民の皆様にご覧いただきたいと思えますのでご期待ください。

結びに、市議会は、住民福祉の向上に誠心誠意努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたりまして、市民の皆様にとってご健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

結ぶに、市議会は、住民福祉の向上に誠心誠意努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたりまして、市民の皆様にとってご健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



4年ぶりの開催 こうのす花火大会 (10月)



市民の日記念事業「シティプロモーション推進フォーラム」を開催 (10月)



高齢者あんしんみまもりサービスを開始 (9月～)

